

# 鳥取市 人権啓発DVD～外国人の人権問題～

| 背番号        | タイトル                      | 分類  | 時間  | 制作年             | 備考                           | 内容                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------|---------------------------|-----|-----|-----------------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| E16<br>E17 | 拉致<br>～許されざる行為～           | DVD | 20分 | 平成19<br>(2007)年 |                              | 1970年頃から80年頃にかけて、北朝鮮による日本人拉致が多発しました。現在17名が政府により拉致被害者として認定されています。<br>拉致問題は、我が国の国家主権及び国民の生活と安全に関わる重大な問題であり、この問題の解決なくして日朝の国交正常化はあり得ません。                                                                                                 |
| E18<br>E20 | 外国人と人権<br>違いを認め、共に生きる     | DVD | 33分 | 平成28<br>(2016)年 | 日本語<br>字幕<br>英語字<br>幕<br>副音声 | このDVDは、外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのかを学びます。                                                                                            |
| E24        | 外国人収容所の闇 クルドの人々は今         | DVD | 39分 | 令和2<br>(2020)年  | 英語版あり                        | 安全は場所はないのですか？<br><br>トルコで迫害を受け、日本に逃れてきた少数民族クルドの人々。彼らは難民として認められることを日本政府に求めている。ところが、彼らを待ち受けていたのは、出入国在留管理庁(入管庁)が管理する外国人収容所への長期収容であった。証言から浮かび上がる、職員による暴力、病人の放置、自殺に追い込まれる収容者、といった過酷な外国人収容所の実態。日本に暮らすクルドの人々へのインタビューを通して、日本の移民・難民政策のあり方を問う。 |
| E25        | となりに生きる外国人<br>ー多文化共生って何？ー | DVD | 30分 | 平成18<br>(2006)年 |                              | 街で、職場で、学校で、外国人を見かけたり、接することが当たり前になってきました。今、日本には200万人を越える外国人が暮らしています。彼らはこの日本で、どのように暮らしているのでしょうか？<br>グローバル化が進む現在、人の移動もますます盛んになっていく中で、私たちは異なる文化や背景を持つ人々と、どのような未来を築いていけるでしょうか。多文化共生社会をつくるために、まずは身近に暮らす外国人を知ることからはじめましょう。                  |